

スタイロフォーム™ と各種材料との接着について

スタイロフォームは、ポリスチレン樹脂を主原料とした独立気泡により形成された発泡体で、多くの有機溶剤や高温物に接触すると溶融や二次発泡を起こすことがあります。

以下に接着剤の硬化過程からの分類と被着材別の使用例を示しますが、選定にあたっては、用途、接着条件等を考慮の上、実験により確認して頂くようお願い致します。

接着剤は、その硬化過程から乾燥型、化学反応型、溶融型に分類され、乾燥型は、その性状により溶剤型とエマルジョン型があり、いずれも液体が気化した後に強力な接着力を生じます。このタイプをスタイロフォームに用いる場合、クシ目ゴテによる塗布やオープンタイムをとる等により、溶剤の乾燥を促進する必要があります。化学反応型は、化学反応により硬化して接着力を得るもので樹脂モルタルやエポキシ等の熱硬化性樹脂が相当します。このタイプは、初期接着力が弱いので加圧等のサポートが必要です。熱溶融型は、加熱軟化させて塗布後、冷却固化させるもので低温アスファルトや熱可塑性樹脂を主成分としたホットメルト接着剤等があります。

被着材別接着剤の使用例

被着材	品名	
スタイロフォーム	アイカ E-5360	エポキシ樹脂系
鋼材, アルミ板等	アイカ EX-790 オーシカダイン TU-136 ボンド E-500	エポキシ樹脂系 ウレタン系(業務用) エポキシ系(業務用)
合板, 石膏ボード	シンコーボンド 241	エチレン酢酸ビニル系
コンクリート	コニシ KMP-10 タイルメント ME-03	変性シリコン樹脂系 変性シリコン・エポキシ樹脂系
木材	ボンド木工用 CH18 アイカ E-5360	酢酸ビニル系エマルジョン型 エポキシ樹脂系

接着剤メーカー連絡先

品名	メーカー名	電話番号
アイカ E-5360・EX-790	アイカ工業株式会社	03-5912-2800(代)
シンコーボンド 241 オーシカダイン TU-136	株式会社オーシカ	03-5916-8864
KMP-10, CH18, E500	コニシ株式会社	0120-28-1168

この資料に記載しました技術情報は当社の信頼できる実験に基づいたものですが、記載内容通りの性能が保証されることを意味するものではありません。当製品の使用目的、使用条件を十分ご検討の上、ご使用くださいますようお願いいたします。また商品の改良のため予告なく仕様を変更することがあります。詳細はデュポン・スタイロ(株)にお問合せください。(☎0120-255576)

TM: 米国デュポン社または関連会社の商標あるいは登録商標です。